

ともに生きる

翔子



田村 ゆうすけ

神奈川県議会議員 瀬谷区選出

田村ゆうすけ

検索



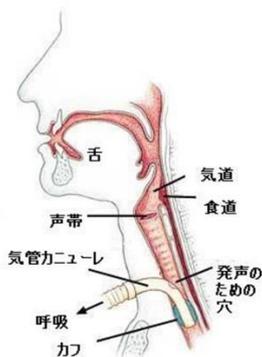
ごあいさつ

今年 4 月で任期の折り返しである 2 年が経ちました。防災対策・社会福祉・子育て世代支援を柱に势力的に活動をさせて頂いています。今年度の委員会も新しく決まり「防災警察常任委員会」に配属されました。

また、今までの 2 年間の活動や経緯も自民党県議会議員団で認められ、このたび 1 期生でありながら自民党政務調査会副会長に拝命されました。政調会は自民党の政策決定機関でありますので、今後はより区民の皆様の声を形にしやすい環境となりました。今年度も瀬谷区の安心・安全のため、若さを武器に一生懸命汗をかいてまいります。

5 年・10 年・20 年先の明るい瀬谷区を国・県・市の議員で連携を取りながら区民の皆様の声を形にしていきたいと思います。

法律の狭間に居て義務教育にきちんと受けられていない子供たちのために



4/4 読売新聞

みなさん「気切」という言葉を聞いた事ありますか？

今、気管切開児が学校にきちんと通えていない現状があります。気管切開とは呼吸をするための気管が狭く、口からの呼吸が困難なため喉から穴を明け「気管カニューレ」という管をいれ、そこで呼吸をする状態です。

この子供たちは身体障害者手帳交付対象外であり現在の法律では機能障害に対しては手帳交付の対象ではありますが、気切のような医療処置の場合は原則対象外であり、この事から医療費負担はもちろんのこと義務教育すらも、まともに受けられないのが現状です。

小・中学校・高校では特別支援学校を勧められますが、現在の支援学校では生徒数が過大規模化し重度障がいを持っている子供たちから優先的に入学が決まり気切の子供たちは、そこから漏れてしまいます。次に通常の学校に通わせようと思うと、気切の子には一定の時間ごとに喉からの痰吸引が必要であり、これが医療行為にあたることから親が廊下で待機するなどの対応が無ければ入学が断られるのが現状です。

今回、横浜市青葉区で初めて小学校に看護師を配置し気切の子が入学できた事例が読売新聞でも報道されました。大阪府では気切の子 109 人に対し、108 人の看護師を配置し、ほぼ 100%で対応している中、横浜市はこの青葉区の事例を抜くと看護師配置率は 0%と最悪な現状であります。私と気切の会代表とで、教育長と保健福祉局長に働きかけ不公平が無く、きちんと教育が受けられる環境整備を求めると共に今後、県として福祉先進県となるよう引き続き協議を続けているところです。

4月4日(火曜日)

みんなと1年生

読売新聞

たん吸引の僕

みなさん「気切」という言葉を聞いた事ありますか？

今、気管切開児が学校にきちんと通えていない現状があります。気管切開とは呼吸をするための気管が狭く、口からの呼吸が困難なため喉から穴を明け「気管カニューレ」という管をいれ、そこで呼吸をする状態です。

この子供たちは身体障害者手帳交付対象外であり現在の法律では機能障害に対しては手帳交付の対象ではありますが、気切のような医療処置の場合は原則対象外であり、この事から医療費負担はもちろんのこと義務教育すらも、まともに受けられないのが現状です。

小・中学校・高校では特別支援学校を勧められますが、現在の支援学校では生徒数が過大規模化し重度障がいを持っている子供たちから優先的に入学が決まり気切の子供たちは、そこから漏れてしまいます。次に通常の学校に通わせようと思うと、気切の子には一定の時間ごとに喉からの痰吸引が必要であり、これが医療行為にあたることから親が廊下で待機するなどの対応が無ければ入学が断られるのが現状です。

今回、横浜市青葉区で初めて小学校に看護師を配置し気切の子が入学できた事例が読売新聞でも報道されました。大阪府では気切の子 109 人に対し、108 人の看護師を配置し、ほぼ 100%で対応している中、横浜市はこの青葉区の事例を抜くと看護師配置率は 0%と最悪な現状であります。私と気切の会代表とで、教育長と保健福祉局長に働きかけ不公平が無く、きちんと教育が受けられる環境整備を求めると共に今後、県として福祉先進県となるよう引き続き協議を続けているところです。

横浜 看護師支援で通常学級

医療的ケアが必要な児童・生徒、小中学校、看護師配置

都道府県	学校数	児童・生徒数	看護師数
大阪府	108校	6,108人	108人
大阪府	20校	29校	2人
北府	17校	35校	6人
三重県	16校	19校	2人
熊本県	16校	14校	3人
仙台市	16校	17校	6人
千葉県	12校	24校	21人
名古屋	12校	12校	9人
東京都	8校	36校	5人
横浜市	0校	10校	3人

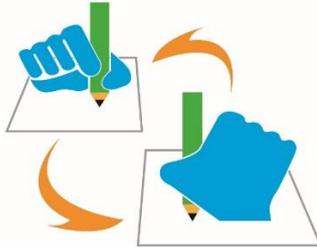
※2015年度、文部科学省調べ

● 全日本ろうあ連盟

手話マーク



筆談マーク



● 三ツ境駅前商店街

新キャラクター「ミックル」

まゆ玉(おみくじ) ↓



・活性化の取り組み

瀬谷区三ツ境駅前商店街にて新しい、ゆるキャラが誕生しました。名前は「ミックル」と言い、商店街の中にある白姫神社にまつわるカニコ(まゆ玉)の神様から誕生しました。商店街のイベントでは必ず登場し地元の子供たちに大人気となり活躍しています。

このミックルが誕生した経緯は神奈川県が商店街活性化のための補助制度の「商業活性化推進事業費」「地域商業ブランドの確立事業費」を提案し予算的に補充し誕生しました。この他にも、具体的には白姫神社のまゆ玉おみくじなども、その一部です。

・共生社会の取り組み

神奈川県では4年前に手話は言語の一つであると言う事を位置づける「手話言語条例」が制定されました。以降、県では手話推進の取り組みが勢力的に進んでいます。そんな中、瀬谷区の商店街でも共生社会の実現に向け取り組みをお願いした所、まず三ツ境商店街で全日本ろうあ連盟が推奨する「手話マーク」「筆談マーク」を一部の店舗で導入して頂ける事になりました。このマークを店舗の外に掲載し聴覚障がい者の方が入店しやすい環境の確保と筆談マークがある店舗では店内に筆談ができるホワイトボードを設置して頂くなど商店街で共生社会の実現に向けた大きな一歩を踏み出してもらいました。

ご報告 第2回 県政報告会 を開催させて頂きました。

4月23日にJA瀬谷駅前支店にて第二回目となる県政報告会を開催させて頂きました。多くの方にご参加いただき心より御礼申し上げます。

当日は今回、初の試みとなる「手話通訳者」を配置し同時通訳で聴覚に障がいをお持ちの方にも県政報告をお聞きいただける環境で開催をさせて頂きました。私自身も手話でご挨拶をさせて頂き、共生社会の実現に向けてのお話や現在、県の抱える問題、今後の施策、そして私自身が県議会でこれまで何を行って来たかなどの報告を行いました。来年も4月に開催予定でありますので是非、ご参加をお待ちしています。



神奈川県議会議員(瀬谷区選出)

田村 ゆうすけ

- ・ 自由民主党政務調査会 副会長
- ・ 防災警察常任委員会 委員

- ・ 瀬谷区阿久和西2丁目在住
- ・ 習い事 手話教室
- ・ 4人男兄弟の長男
- ・ 家族は妻、子供3人
- ・ 1980年11月29日宮城県仙台市生まれ
- ・ 衆議院議員 さかい学の秘書を経て
- 2015年4月 神奈川県議選に初当選



<http://tamura-y.com/>

田村ゆうすけ
で検索

